

一般診療科と精神科との 連携を考える！

一般診療科を受診する患者（感染症などの急性疾患を除く）の約3割は精神的な問題を抱えていると言われています。また、精神疾患を持つ人々やその家族に対する支援は、医師だけでなく、看護師、ソーシャルワーカー、介護士、ケアマネジャーなど多職種の連携が必要です。

多疾患併存でハブの役割を担うのは、かかりつけ医？コメディカル？…生活に身近なケア職からの情報提供も重要。

「地域で、精神疾患が疑われる人、複数の疾患併存の人を支えるための連携」をテーマに考えていきます。

**日時：2026年3月12日（木）
19：00～20：20**

方法：オンラインセミナー

■ 話題提供

「急患診療センターなど多機関へ、不安を訴え多受診していた人が連携によって適切な治療につながるまで」

新潟市医師会医療課 課長

斎川 克之

■ 講話とディスカッション

しんメンタルクリニック 院長

上馬場 伸始 氏

こばやし内科クリニック 院長

小林 義昭 氏

座長：新潟市在宅医療・介護連携センター

センター長 阿部 行宏（新潟市医師会理事/山の下クリニック院長）



問い合わせ先

025-240-4135

**参加申し込みは
コチラまで→**

新潟市在宅医療・介護連携センター

（新潟市中央区紫竹山3-3-11 新潟市医師会）

